



【特集】

# 立浪部屋

本市に移転後10周年を迎え、さらなる飛躍へ

市内の陽光台に部屋を構える大相撲・立浪部屋は大正4年創設の名門。2007年に東京・両国から当市に移り、移転後10周年を迎えた。7代目立浪親方の下、日本各地から17人の力士たちが集い、日々厳しい稽古に励んでいる。その立浪部屋から6年ぶりに関取が誕生。いま、勢いにのる名門の稽古場を訪ねた。



## 稽

古場は熱気に包まれていた。たくましい身体と身体が激しくぶつかりあうたび、「ばちん、ばちん」と大きな音が響き渡る。その光景に思わず息を飲む。力

士たちの真剣な表情、飛び交う気合の声に、背筋が伸びた。地域に開かれた相撲部屋として、市内・陽光台の閑静な住宅街に拠を構える大相撲・立浪部屋は、普段から自由に稽古を見学できる。この日も、早朝から熱心な地元の相撲ファンが稽古を見学していた。その立浪部屋から6年ぶりに2人の関取が誕生した。一人は初場所から新十両に昇進した、熊本県出身の力真関。もう一人は夏場所から十両へ復帰する、鹿児島県出身の明生関だ。二人は同期で、いずれも21歳。スカウトを受け、中学卒業後に立浪部屋に入門した。

